

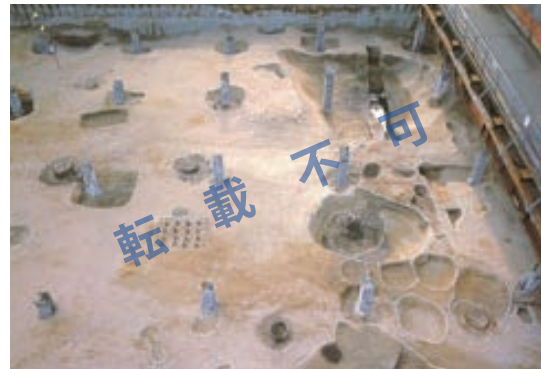


刊行図書のご案内

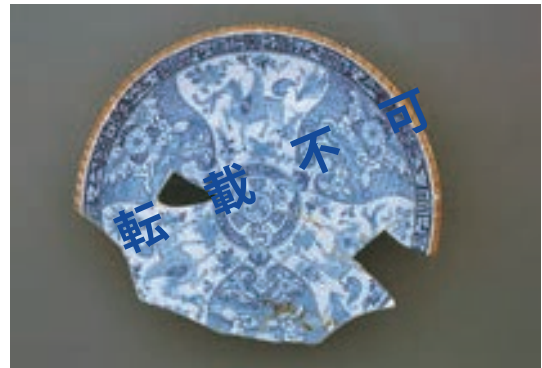
公益財団法人 大阪府文化財センター調査報告書 第231集

並松町遺跡

大阪府道高速大和川線建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書



遺構面全景 (C区)



肥前磁器染付大皿

価 格：514円 (税込)

送 料：350円

刊行日：2012年9月

判 型：A4

頁 数：本文 150 頁、巻頭カラー図版 2 頁、写真図版 30 頁

重 量：755^g

大阪府道高速大和川線建設事業に伴って実施された、堺市堺区に所在する並松町遺跡の発掘調査報告書。近世後半が主体の遺跡です。

大和川の南側堤防に接しており、江戸時代に和歌山藩主紀州徳川家などが参勤交代で通行していた紀州街道およびその両側が対象となっています。現在も利用されている紀州街道部分では、堆積状況から長期間にわたって踏み固められた状況が観察できました。さらに、この位置における道は、近世初頭以降のものであることがわかりました。

海側である紀州街道の西側では、海からの津波や高潮によると考えられる大規模な砂礫の堆積がみられました。東側では、街道沿いに広がるゴミ穴や井戸、水溜め遺構などがまとまって見つかりました。18世紀以降の陶磁器や瓦などが出土しました。